

奈良ハイキング記録

2024.4.26

- ・日 時 2024年4月19(金)~21日(日) 大和八木駅 4/19 12:00 集合、京都 4/21 15:00 解散
- ・参加者 小川さん、下田さん、塚原さん、花田さん、藤沢さん、室岡、瀧本さん親子、中山さん夫妻
最大10名 瀧本さん親子、中山さん夫妻は三輪山 4/21 のみ参加。
- ・タイム 4/19 大和八木駅 12:00→ホテル河合 12:10/20→畝傍駅 12:25/13:01→法隆寺駅 13:37/40→法隆寺 14:45/15:30→松尾寺 16:30/40→矢田小学校バス停 16:45/17:00→郡山城 17:25/40→大和郡山駅 17:50/55→大和八木駅 18:30 実動約6時間 13km
4/20 ホテル河合 7:30→大和八木駅 1740/51→古市駅 8:22/27→河内長野駅 8:45/9:00→金剛山登山口 9:32/50→千早城 10:15/25→金剛山 11:50/12:30→高天原神社 14:45/55→鳥井戸バス停 15:45/16:35→高田 17:20/26→大和八木 17:39 実動約5時間 12km
4/21 ホテル河合 8:00→畝傍駅 8:20/35→三輪駅 8:50/9:00→狭井神社 9:20/30→三輪山 10:45/11:00→狭井神社 11:40/12:00→茶店 12:20/13:00→三輪駅 13:20/40→天理駅 13:51/14:00→平端駅 14:05/10→京都駅 15:04 実動約2.5時間 5km
- ・概要 4/19(金) 大和八木駅は気温 20℃晴れ、11:55 に3名が改札口に集合した。他の3名は別行動で大峰山に登山後大和八木駅で待ち合わせた。駅前の案内所で大台ヶ原は 4/20 から解禁だがバスは 4/21 から通ることを初めて知った。ホテル河合は古い町並みの中にあり、ここで荷物を置き、JR 畝傍駅から王子駅経由で法隆寺駅に着いた。バス道を抜け人気のない松並木の長い参道を法隆寺まで歩いた。金堂で迦三尊像、百済観音堂、夢殿で救世観音を1,500円、1時間ほどで見学した。夢殿からは中宮寺との間の路地を抜け、レンゲの花が咲く田中の道を北に進み、天満池という農水池を通りゴルフ場の中を抜けて松尾寺に着いた。この道は七曲道という松尾寺参道で案内図にない近道だった。時間の都合で松尾山を省略し、広い車道を30分ほど下り矢田小学校バス停で奈良学園発近鉄郡山行きのバスに乗った。郡山城会館バス停で途中下車し、郡山城を30分ほど見学した。郡山城は文京区の六義園を作った柳沢吉保にゆかりがあり、文芸的な作りが感じられた。

郡山城址

松尾寺

法隆寺

法隆寺駅

松尾寺の石楠花

1

4/20(土) ホテル河合 7:30 出発、17°C 晴れ。大台ヶ原山(1695m)を変更して金剛山地の主峰、金剛山(1125m)に登った。京都から来る近鉄橿原線から橿原駅で近鉄大阪線に、古市駅で近鉄南大阪線に乗り換え、河内長野駅で電車を下りて南海バスに乗り金剛山登山口で下車した。バスは金剛山登山者が多く、1 台後のバスに乗ったが満員になった。登山口からは、少数の登山者が登る 500 段の石段が続く千早城コースを登った。千早城は、江戸時代までは武士の名を汚すなどと評価が低かった楠木正成が 1333 年 2 月から 10 ヶ月のゲリラ戦の末に鎌倉幕府を滅亡に導いた城だが、鎌倉時代の形式なのか戦うための城のためか、大手門や天守のようなものはなかった。

千早城から上も丸太を使った「石段」が延々と続き、多数の下山者とすれ違いながら、千早城から約 1 時間で金剛山頂に着いた。国見跡の広場は最高地点ではないが「山頂」となっており、多くの登山者が休憩し写真を撮っていた。我々は「山頂」下の広場で昼食をとった後、茶店の前のトイレに寄り、転法輪寺、実際の山頂である金剛山葛城神社に参拝して高天彦神社に向けて下った。金剛山周辺には、昨年登った葛城山にある葛城天神社、金剛山にある金剛葛城神社、葛城山の麓にある葛城一言主神社があり、紛らわしい。高天原神社までは、杉やヒノキの植林地の斜面に付けられた丸太の「石段」を延々と下った。途中で奈良県側からの登山者、キバナイカリソウを見るために下って引き返す登山者に出会った。谷底まで下り靴を洗った後、車道を下り人家に出て高天彦神社に着いた。この神社は金剛山を神体として祀り、霧島と同様に神々が地上に降り立った天孫降臨の地と言われている。この神社から桜やシャガの花が咲く葛城古道を橋本院、極楽寺に下り、さらに農道を下って鳥井戸バス停に着いた。



河内長野駅



千早城跡



山頂の茶店



上から
キバナイカリソウ、
ハナイカダ、ショウ
ジョウバカマ、
カンアオイ

4/21(日)ホテル河合出発 8:00 気温 18℃ 曇り午後から雨。JR 畷傍駅前で中山さん夫妻と、三輪駅で瀧本さん親子と合流した。広く長い杉木立の参道を登って大神神社に参拝し、休憩所でコインロッカー(無料)に余分な荷物を預け、狭井神社に着いた。ここで三輪山参詣を書面で申込み、たすきを受け取り、神職の若者から撮影や飲食の諸注意を受け、登山口から登り始めた。

急坂を 200m 程登って尾根に出、沢に下った所に 1 丁目を示す杭①があった。さらに沢沿いに歩き、杭③とある水垢離の建物で休憩した。ここで神職の人たちも毎朝水垢離をすると思われる。再び尾根まで 200m 程の急坂を上り、尾根に出て檜や杉の巨木が茂る原始林の中を 30 分程歩き、しめ縄の結界で囲まれた杭⑤とある中津磐座に着いた。ここから、所々に倒木で開けた原始林の尾根道をジグザグに登り、杭⑦, ⑧, ⑨を次々に見て鈴が付きしめ縄に囲まれた奥津磐座に着いた。以前、ここから山頂まで行った記憶があるが、結界の縄があり断念した。ここで少し休んで同じ道を下り正午前に全員無事に狭井神社に着いた。⑥合目の倒木跡にはカラスザンショウの木の一群が、水垢離の建物近くにはシャガやミヤマトベラがあった。神社にたすきを返し霊水を汲み、茶店でお昼を食べ、休憩所に立ち寄って三輪駅に戻り事実上解散した。

